

ほ 「歯っらっ便り」



コープ歯科まるがめ診療所ニュース 2013年1月 No2

発行：コープ歯科まるがめ診療所 部内資料

【新年のごあいさつ】

新年あけましておめでとうございます。

コープ歯科まるがめも今年で13年目を迎えることになりました。生涯を通じて組合員さんのお口の健康管理のお手伝いができるよう、所長をはじめ職員一同全力で取り組んでまいります。本年もどうぞ宜しくお願いします。

コープ歯科まるがめ職員一同



定期検診の予約を取りましょう！！

コープ歯科まるがめでは虫歯治療や歯石取りなど一連の治療が終了した患者様に「次の定期検診の予約（約6ヶ月先）」を取って頂いています。特に歯周病の要因のひとつとされている「歯石沈着」は歯磨きだけでは取り除くことが困難です。定期的に歯科で除去することで歯周病予防に繋がります。これまでも定期検診の時期が来たらハガキでのご案内を行っていましたが、予約を取って頂くことで予約の直前（約1週間前）にコープ歯科からご確認の為のお電話をさせて頂いておりますので長期予約での日付忘れの心配も無く、また歯科への予約電話する手間もありません。今その「長期予約」を取っている方は約100名で毎月少しずつ増えていきますので治療が終わったら予約を取りましょう。

ウラも見てね

歯の豆知識

第二話 糖尿病と歯周病

香川県は糖尿病の有病者率で全国ワースト1位(2008年)という不名誉な状態にあるようです。うどんなどの炭水化物中心のメニュー(成人の野菜摂取量の少なさも全国ワースト)が関係しているのかもしれませんが、糖尿病の方は歯周病にかかりやすく、また歯周病があると糖尿病が悪化しやすいということをご存知でしょうか。

糖尿病では適切な治療を受けないと身体が高血糖の状態になり、血行障害を生じたり感染症に対する免疫機能の低下が見られるようになります。これらは当然歯ぐきの中でも起こり、歯周病菌が作り出す毒素にうまく抵抗できずに炎症がどんどん進行していくのです。

一方で歯周病菌が血管内に侵入すると、それを退治しようとして集まった白血球は免疫の作用で、ある物質を放出します。じつはその物質にはインスリン(血糖値を下げるホルモン)の作用を妨げる働きがあり、高血糖状態が長く続き糖尿病が悪化してしまうのです。

このように糖尿病と歯周病はお互いを悪化させる「恐怖のスパイラル」関係にあります。内科で糖尿病の治療を受けておられる皆さん、歯科も受診されていますか？

(コープ歯科まるがめ所長・尾平野将広)



～診療所トピックス～

院所利用委員会って何？

コープ歯科を利用してみて「こんな所が気になった」「もう少しここを改善してもらいたいなあ」など少なからず気になることがあると思います。

そんな意見や要望について実際に利用されている方が集まって話し合いの場が「院所利用委員会」です。この委員会は診療所の担当者も参加しますので直接意見等が伝わり改善に繋がりやすいのが特長です。

その源となっているのが患者様からの「声」です。当診療所には「虹の意見箱」を設置しておりますので気になったことや改善して欲しいことがございましたらお寄せ下さい。